

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-524936(P2001-524936A)

【公表日】平成13年12月4日(2001.12.4)

【出願番号】特願平10-518475

【国際特許分類第7版】

C 0 7 H 19/16
A 6 1 K 31/706
A 6 1 K 31/7072
A 6 1 K 31/708
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 19/06
A 6 1 P 31/00
A 6 1 P 33/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/06
C 0 7 H 19/02
C 0 7 H 19/14
C 0 7 H 19/23
C 0 7 H 19/24

【F I】

C 0 7 H 19/16
A 6 1 K 31/706
A 6 1 K 31/7072
A 6 1 K 31/708
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 19/06
A 6 1 P 31/00
A 6 1 P 33/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/06
C 0 7 H 19/02
C 0 7 H 19/14
C 0 7 H 19/23
C 0 7 H 19/24

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月1日(2004.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月1日



特 許 庁 長 官 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第518475号

2. 補正をする者

名 称 アイ・シー・エヌ・フアーマシユーテイカルズ・
インコーポレイテッド

3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル
(郵便番号 160-0022) 電話 (03)3354-8623
(6200) 弁理士 川 口 義 雄



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

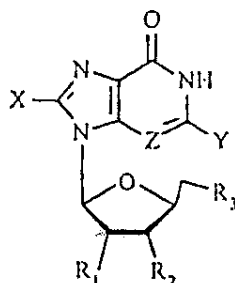
(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する



[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. 式 I-A



式 I-A

(式中、Xが、 R^x 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^x$ 、 $-SR^x$ 、 $-NR^x_2$ 、 $-NHNH_2$ 、 $-NHOH$ 、 $-CHO$ 、 $-CONH_2$ 、 $-COOR^x$ 、および-L-Aから選択され、ここで、 R^x が、アルキル、アルケニル、アルキニルおよびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、Lは、リンカーであり、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキルから選択され、Aが、H、 $-OR'$ 、 $-SR'$ 、 $-NR'_2$ 、 $-NHNR'_2$ 、 $-CHO$ 、 $-COOR'$ 、 $-CONR'_2$ から選択され、 R' が、H、Me、Et、アリル、アセチル、 $-COCF_3$ から選択され、

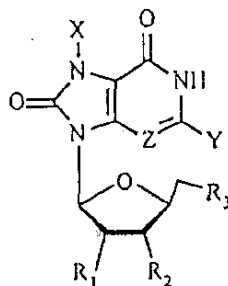
Yが、H、 R^y 、F、Cl、Br、I、 N_3 、CN、 OR^y 、 SR^y 、 NR^y_2 から選択され、ここで、 R^y が、H、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、

Zが、NまたはCHであり、

R_1 、 R_2 および R_3 が独立に、H、 $-OH$ 、 $-OAc$ 、 $-OBz$ 、 $-OP(O_2)$ OHから選択される)

の構造を有する化合物、8-置換 α -または β -L-グアノシン類似体。

2. 式 I - B



式 I - B

(式中、Xが、H、 R^* 、 $-NH_2$ 、 $-CHO$ 、 $-COOR^*$ 、 $-L-A$ から選択され、ここで、 R^* が、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキルから選択され、Lは、リンカーであり、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキルから選択され、Aが、H、F、Cl、Br、I、 $-OR'$ 、 $-SR'$ 、 $-NR'_2$ 、 $-NHNH_2$ 、 $-NHOH$ 、 N_3 、 $-CHO$ 、 $-CONH_2$ 、 $-COOR'$ 、 $-CN$ から選択され、 R' が、Me、Et、アリル、アセチル、 $-COCF_3$ から選択され、

Yが、H、 R^y 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^y$ 、 $-SR^y$ 、 $-NR^y_2$ から選択され、ここで、 R^y が、H、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、

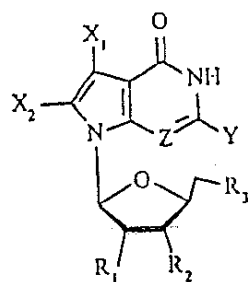
Zが、NまたはCHであり、

R_1 、 R_2 および R_3 が独立に、H、 $-OH$ 、 $-OAc$ 、 $-OBz$ 、 $-OP(O_2)$ OHから選択されるが、

ただし R_1 、 R_2 および R_3 がOHのとき、ZはNではなく、Yは NH_2 ではなく、およびXはプロピルではない)

の構造を有する化合物、7-置換-8-オキソ α -または β -L-グアノシン類似体。

3. 式 I - C



式 I - C

(式中、 X_1 および X_2 が独立に、H、 R^* 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^*$ 、 $-SR^*$ 、 $-NR^{*}_2$ 、 $-NHNH_2$ 、 $-NHOH$ 、 $-CHO$ 、 $-CONH_2$ 、 $-COOR^*$ 、および $-L-A$ から選択され、ここで、 R^* が、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、Lは、リンカーであり、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキルから選択され、Aが、H、 $-OR'$ 、 $-SR'$ 、 $-NR'^2$ 、 $-NHNR'^2$ 、 $-CHO$ 、 $-COOR'$ 、 $-CONR'^2$ から選択され、 R' が、H、Me、Et、アリル、アセチル、 $-COCF_3$ から選択され、

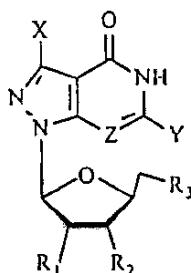
Yが、H、 R^y 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^y$ 、 $-SR^y$ 、 $-NR^{y}_2$ から選択され、ここで、 R^y が、H、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、

Zが、NまたはCHであり、

R_1 、 R_2 および R_3 が独立に、H、 $-OH$ 、 $-OAc$ 、 $-OBz$ 、 $-OP(O_2)OH$ から選択される)

の構造を有する化合物、7-デアザ-7, 8-モノ-またはジ置換 α -または β -L-グアノシン類似体。

4. 式 I-D



式 I-D

(式中、Xが、H、 R^x 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^x$ 、 $-SR^x$ 、 $-NR^{x_2}$ 、 $-NHNH_2$ 、 $-NHOH$ 、 $-CHO$ 、 $-CONH_2$ 、 $-COOR^x$ 、および $-L-A$ から選択され、ここで、 R^x が、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、Lは、リンカーであり、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキルから選択され、Aが、H、 $-OR'$ 、 $-SR'$ 、 $-NR'^2$ 、 $-NHNR'^2$ 、 $-CHO$ 、 $-COOR'$ 、 $-CONR'^2$ から選択され、 R' が、H、Me、Et、アリル、アセチル、 $-COCF_3$ から選択され、

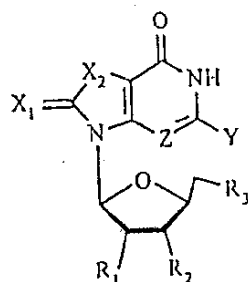
Yが、H、 R^y 、F、Cl、Br、I、 N_3 、 $-CN$ 、 $-OR^y$ 、 $-SR^y$ 、 $-NR^{y_2}$ から選択され、ここで、 R^y が、H、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、

Zが、NまたはCHであり、

R_1 、 R_2 および R_3 が独立に、H、 $-OH$ 、 $-OAc$ 、 $-OBz$ 、 $-OP(O_2)OH$ から選択される)

の構造を有する化合物、7-デアザ-8-アザ-7- α -または β -L-グアノシン類似体。

5. 式 I-E



式 I-E

(式中、 $X_1 = O, S, =NH, =NNH_2, =NHOH, =NR^x$ であって、 R^x が、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アシルから選択され、

X_2 が、 S, O 、または Se であり、

Y が、 $H, R^y, F, Cl, Br, I, N_3, -CN, -OR^y, -SR^y, -NR^y_2$ から選択され、ここで、 R^y が、 H 、アルキル、アルケニル、アルキニル、およびアラルキル、アセチル、アシル、スルホニルから選択され、

Z が、 N または CH であり、

R_1, R_2 および R_3 が独立に、 $H, -OH, -OAc, -OBz, -OP(O_2)OH$ から選択されるが、ただし、 R_1, R_2 および R_3 が OH の場合は、 Z は N でなく、 X_1 は O でなく、 X_1 は S でなく、 Y は NH_2 でない)

の構造を有する化合物、チアゾロ[4, 5-d]ピリミジン α -または β -ヌクレオシド。

6. 少なくとも1種類の医薬上許容される担体と混合された請求項1ないし5のいずれかに記載の化合物またはその医薬上許容されるエステルもしくは塩を含む医薬組成物。

7. 感染症、寄生虫感染症、新生物または自己免疫疾患から選択される医学的状態にある患者の治療用医薬組成物の製造における請求項1ないし5のいずれか1項に記載の化合物の使用。

8. 医薬組成物が治療上有効量の化合物を含む請求項7に記載の使用。

9. Th 1 および Th 2 サイトカインにおける平衡と関連した状態の治療用医薬組成物の製造における請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。